

# 西 ～にし～

Good News 特集号

■都立第五商業高等学校  
全日制課程  
「起業家チャレンジ（五商ショップ）」

## ■第五商業高等学校 「起業家チャレンジ（五商ショップ）」

### ○ 趣旨及びねらい

起業家精神育成を目的として、3年「課題研究」の1講座として実施しています。3単位の授業の中ではグループワークを中心に課題の認識、その検証や解決の方法を議論しています。また不定期に「五商ショップ」を開き店舗運営や販売実習を通して、企業経営の一部を実践的に学ばせるとともに、地域連携で地元商店街の活性化を図ります。

### ○ 内容

「実際に存在している商品に新たな付加価値をつけるために何をしたらよいか」「自分が起業することを想定してその組織に必要な人材の資質は何か」等のテーマを3人1組で議論し発表します。テーマは起業をキーワードに新聞・ニュース・書籍等から題材を得て、決めます。

今年度は、国立市で活動するNPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション（以下、KFとする。<http://www.human-environment.com>）と連携し、「くにたち野菜」や多摩地区の物産を販売しています。現在までにKFが主催する地産地消イベントの参加や、文化祭において出店しました。

### ○ 留意点

（1）「課題研究」の1講座なので、販売実習に偏ることなく議論することを大切にしています。

（2）KFは一橋大学と津田塾大学の学生が中心になって、谷保地区の商店街の活性化を目的にコミュニティビジネスなどを展開しています。その活動と連携するために、大学生と五商生のコミュニケーションの場を多く設けました。

### ○ 成果と課題

KFとの連携により商材が安定的に確保できるようになったため、販売実習の機会を増やすことができました。起業家精神育成とともに、大学での学びを体験できる講座になりました。

KF、地域の商店街を始め多くの外部関係者の協力があって成立している講座であるため、指導する側は信頼関係を維持する努力をしなければなりません。また、生徒も校内や地元の友人とは異なる文化の人々と触れ合うので、一定のマナーを身に付けておく必要があります。販売実習は売ることそのものに興味・関心を抱きがちになりますが、商品知識について学び、何をセールスポイントにすれば販売量の向上に寄与するのかなど、深く考えさせることを大切にしていきたいと思います。

【 五商ショップの様子 】



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468